

川崎で、グッド・アクション！

かわさき市民活動センター | ボランティア・市民活動情報紙

川崎市内のボランティア・市民活動は
<http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/>



こどものまちミニカワサキは
大人、口出し禁止！

みんなで学び合って
このまちを好きになっていく。



U-50

インタビュー/コラム形式で、川崎市NPOで活躍する若手エースを紹介しています。ホームページで、毎月連載を更新中です。



◀アンダー50の連載はこちら

今号のカバーSTORY

中原区在住

こどものまちミニカワサキ実行委員会

代表 大城 英理子 おおき・えりこ さん

設計事務所勤務時には大規模都市開発コンセプトデザインなどに関わり、まちをどう良くするか？を、ひたすら考えたという大城さん。まちで感じる孤独、子ども・子育て視点でのまちの在り方への疑問を感じた時期や体験を経て、「子どもだけで、こどものためのまちを企画運営する」ドイツ発祥のプログラムをモデルにした「ミニヨコハマシティ」（横浜市都筑区）に出会いました。大城さんたちによる実行委員会は、2018年に「こどものまちミニカワサキ」を高津区川崎市民プラザでの初開催へと導き、現在は2023年10月の第4回の準備中。大人は「口出し」をせず、子どもを信じ、子どもが全力で取り組めるように地域のネットワークづくりや資金調達に奔走しています。大城さんへのインタビューは、「U-50」をお読みください。

日本全国の中学校が荒れた1980年代に、子どもの心を知りたいと調べる過程で〈カウンセリング〉に惹かれていきました。子育て後に「世田谷婦人大学」で履修し、認定カウンセラーとして区の施設で5年働きました。そののち、共に学んだ同期たちとカウンセリングルームを開設。転居後には、川崎の仲間と、中原から孤独死を出さないという決意で「モモの会」を2015年に立ち上げ、電話でお話を聞くことで独居の方などの心を支える活動を続けています。きっかけはカウンセリングとの出会いですが、更にそのずっと昔、小学校で勉強などがゆっくりな同級生をサポートした経験が私の原点だと思っています。その子の笑顔の記憶が今も私を支えています。傾聴とは相手の心に寄り添うこと。どなたでも必要な時にはいつでも...「お電話待ってます！」 <https://kawasaki.genki365.net/G0001861/>

現役時代とは、
反対の立場に立ってみたかったです

諸富 滋さん

市民記者 (かわさき市民活動センター事業)
活動開始:2018年4月、62歳

現役時代は麻生区の自宅と都内の職場を行き来する「川崎都民」でした。地元への関心は薄く、会社ではマスコミ対応窓口として会社情報を提供する広報の仕事に就いていました。定年退職を機に、地元と関わりをもつこと、自ら取材して伝えていく経験をするを目指して、市民記者養成講座に参加しました。署名記事が新聞紙面に載るのも魅力でした。始めてみて、川崎には様々な市民団体があり、それぞれに魅力的な活動をされていることを知りました。団体メンバーの熱意や楽しんで活動されている姿にいつも惹き込まれ、惚れ込み、つついっ応援したくなってしまいます。新聞掲載後もイベントを見に行ったりします。「記事が出てから問い合わせが増えたよ」と言ってもらえると嬉しいです。約20人の市民記者仲間に支えられています。

http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/shiminhatsu/shiminhatsu_newsall/



4月に「家族相談士」の資格を取得しました!



相澤 ミチ子さん

団体名:モモの会 ~電話で傾聴をするボランティアグループ
団体開始:2015年4月、60代

癒しの歌声が届ける想い



癒シンガー Keikoさん



団体名:あなたはひとりじゃない
活動開始:2017年(団体2023年)、40代

歌手・歌う講演家です。元々、20歳代で歌手としてデビューし、川崎市でも歌を仕事としていました。そんなある日、「多発性硬化症」という難病患者の一人となりました。発病した時から多くの支援や愛情をいただき、今の私があります。その後、病気のため座って歌うステージスタイルへと変わっていき、講演で学校に伺いました。そこで子どもたちの心のケアが深刻であると知るようになります。そして「なぜ自分が病気に?」...と、そんなことを考えているうちに、私だから出来ることがあるかもしれないと思うようになります。今度は私が支援や愛をつなぐ番です。悩み落ち込みを感じている子どもたちに「あなたはひとりじゃない」と親御さんや身近にいる大人たちの想いを「歌」で代弁したいと思ったことがきっかけです。 <https://singerkeiko.xsrv.jp>

小さな疑問や思いから踏み出した、それぞれのストーリー。

あなたの「きっかけ」、

大好きな川崎で子どもたちが活躍する場を提案!



2年前、生まれ育った川崎市の役に立ちたいという思いから「ようこそ!かわさき検定」を受験し最年少で合格しました。しかし、コロナ禍でガイド研修などの活動が中止に。そんな時、発足に向かう「中原区SDC」に出会いました。1年半にわたって参加した検討会では対等に意見を求められるので、最初は大変でしたが、心ある大人たちの支えにより、自信を持って自分の考えを伝えられるようになりました。このような経験から、「子どもが自由に意見を言ったり、地域の大人と子どもをつなぐ居場所をつくりたい」という願いを込めて、「子どもSDCクラブ」を創設しました。僕たちが提案したイベントを通じて、地域と子どもをつなぐ楽しい交流が生まれたら嬉しいです。

<https://kodomosdc.wixsite.com/nakahara>

中谷 悠人さん

団体名:子どもSDCクラブ
団体開始:2023年1月、11歳(小学5年生)



Info



市民活動等の情報冊子 kikkake (きっかけ)

中原区で何か新しいことなどを始めたい人、既に活動されている人に役立つ情報を掲載(中原区発行)。活動スペースや支援制度など地域活動に欠かせない情報が満載! 中原区のHPにも公開されています。活動センターでも配布中(無料)。

<https://www.city.kawasaki.jp/nakahara/page/0000149895.html>



普段は大学で
数理ファイナンスを
研究しています



今や暮らしとビジネスに欠かせないAI、IoT、ICT、データサイエンス、機械学習、ディープラーニング等の新技術。実はこれらは「数学」が裏から支えています。興味や関心のある人も増えていますね。それでは、機械学習などに使われる勾配降下法について見ていきましょう。
 $x' = x - \eta(\partial f / \partial x)$ 🤔🤔🤔
ところが、数式を見た途端に思考が停止して拒否反応を示す人が続出！まさにこのギャップこそが団体設立のきっかけでした。人は未知の事柄に対して過度の期待や恐怖を感じますが、基本と本質を理解すれば応用の世界に自由に羽ばたくことが出来るのです。質問や議論を通じて一緒に数学を楽しみたいと思います。また、「お金」に関することは大切なのに学校教育で扱わないことに、ずっと疑問を感じていました。教育機会不足の現状を踏まえ、今年度は「FTI Consulting」として「生活に役立つ金融・経済学」講座も開始します。

<https://kawasaki.genki365.net/G0001764/>



小林 道宏 さん

団体名：M&I Institution(旧：実社会における数学研究会)
活動開始：2015年、20代

News

NHK Eテレ番組「あおきいろ」テーマソング

YOASOBI楽曲「ツバメ」

ダンス動画・川崎バージョンが公開中！



子どもたちの共生マインドを育むテレビ番組「あおきいろ」。テーマソング「ツバメ」に合わせて踊る「ツバメダンス」を中心に、いろんなバージョンの「ツバメ」動画が制作されています。2023年3月に放送された〈川崎バージョン〉では、舞陽フラッグを背景に「NPO法人ダンスラボラトリー」のダンスシーンから動画スタート！ぜひ一度ご覧ください。



YouTube視聴はこちらから
<https://www.youtube.com/watch?v=nX1c9TaRbIA>

「あおきいろ」番組サイトからも視聴できます
<https://www.nhk.or.jp/irotoridori/aokiuro/movie/program.html>

教えてください。



園部 由美 さん

社会福祉法人ともかわさき
さおり織交流事業開始時期：2023年、50代

障害福祉拠点施設「なかはら障害福祉施設ひらま」の相談や地域交流に関わる事業を行う「相談交流ひらま」では、地域の方々と障がい児者が互いに交流する場をつくってきました。今回開始を試みる「さおり織」は、多くの支援学校で授業として取り組んでいるものです。しかし学校を卒業すると「さおり織」に触れる機会が極端に少なくなるので、ずっと残念に思っていました。そこで2023年度に施設に折機を設置しました。本格始動に向けて準備を進めています。横糸に不要な古着を使用する、SDGsな「さおり織」を作ろうと考えています。一緒に始めてくださるボランティアさんも募集しています。初めての方も大歓迎、色とりどりの糸玉と一緒にお待ちしています。



Facebookで
相談交流ひらまの活動を
見てくださいね

<https://www.facebook.com/soudankouruyhirama/>

セミナーレポート パワーアップセミナー 5月21日開催

大好評！

リアルに活動を伝える1分間動画を〈まずは〉スマホで
つくれるようになりたい！

講師：中山 望 さん(映像ディレクター)



動画は文字や写真と比べて非常に多くの情報を伝達します。前半は、「企画・方向性」、「60秒の台本」、「動画の目標／目的・ターゲット」など、基礎から学びました。「最も大切なことは台本作り」と、中山さん。各自簡単な台本を作成してグループ発表を行いました。

後半は、「休日の武蔵小杉、新緑」をテーマにスマホやタブレットで撮影。そして動画編集アプリの使い方を教わりながら、カット編集と音楽・文字入れまで実践しました。ほとんどの受講者が音入れまで順調に制作！主なSNSサイトの特徴とユーザー層の説明もありました。中山さんの当日資料スライド数は、なんと100枚以上！厚い内容をわかりやすく伝えられるのは、プロフェッショナルの映像ディレクターの中山さんだからこそ。中山さん、また、受講していただいたみなさん、ありがとうございました。



撮影をする受講生



大切な台本づくりを見てまわる中山さん



川崎区第2グループ 大師地区の今・昔～東海道かわさき宿400年に向けて～

2023年の東海道川崎宿起立400年を記念した取り組みとして、昨年度より川崎区第2グループ(大師・藤崎・殿町)こども文化センターでは、それぞれのこども文化センターの利用児童の交流を図りながら、大師・藤崎・殿町地区の歴史を振り返る行事を進めてきました。400年という節目を意識しながら、我が町川崎の歴史を紐解くことで、郷土愛を育みながら、地域への知的好奇心を高められたらと思います。

取り組みのスタートイベントとして、2023年2月8日に大師こども文化センターにおいて、NPO法人かわさき歴史ガイド協会理事長 星川孝宜氏をお招きして、大師地区の歴史・風土について講演していただきました。またこども文化センターごとに「地名」「地形」「産業」といったテーマを決め、調べてきた内容を発表する場を設けました。

発表者は、地名の由来や地形の変化について模造紙にまとめたり、パワーポイントを用いて大きなスクリーンの画像を見ながら分かりやすく説明するなど、それぞれの工夫をしていました。また、参加している子どもたちにとっても身近な大師地区の歴史的内容であったため、低学年の子どもたちも真剣に聞くことができました。参加者からは「自分たちの住んでいるところで、昔は果物がたくさん作られていたことに、びっくりした!」「町の名前は、いろいろな意味があることが分かった」などの感想が上がりました。

このイベントを終え、東海道かわさき宿400年に向け、自ら調べて学ぶ取り組みをこれからも続けていこうという、発表者の子どもたちの意気込みを感じることができました。



(左)自分たちでつくったパワーポイント資料を発表
(右)地名について調べたことをクイズにしました



大師地区の歴史や風土について講演(星川孝宜氏)

※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター53施設のキャラクターです。

※わくりんは、当財団が管理運営するわくわくプラザ102施設のキャラクターです。

この秋も、開催決定!!

ごえん楽市2023



(11/18 土曜日)
詳しくはHPで

川崎市からのお知らせ

① NPO法人実務 基礎固め講座を開催します

総会開催や各種届出などNPO法人に必要な事務について、実践的に学べる講座です。

日時 令和5年7月14日(金)
午後6時15分～午後8時30分

会場 中原市民館 第3会議室

対象 川崎市市内のみ事務所を置くNPO法人で、運営実務に携わる職員、スタッフ

定員 25名 ※先着順、事前申込制(1法人あたり2名まで)
※配慮が必要な方は6月30日(金)までにお申し込みの上、別途ご連絡をお願いします。

申込方法 電話、FAX、川崎市ホームページのメールフォーム または窓口で直接
※FAXの場合は、①お名前②法人が団体名③参加人数④電話番号を必ずご記入ください。

申込先問合せ 川崎市市民文化局市民活動推進課 電話:044-200-2341 FAX:044-200-3800

② NPO法人設立事務説明会 を開催します

NPO法人制度の概要や設立認証申請の際の書類作成等のポイント、設立後に提出が必要になる書類についてご説明します。

日時 令和5年7月29日(土)
午後2時～午後4時

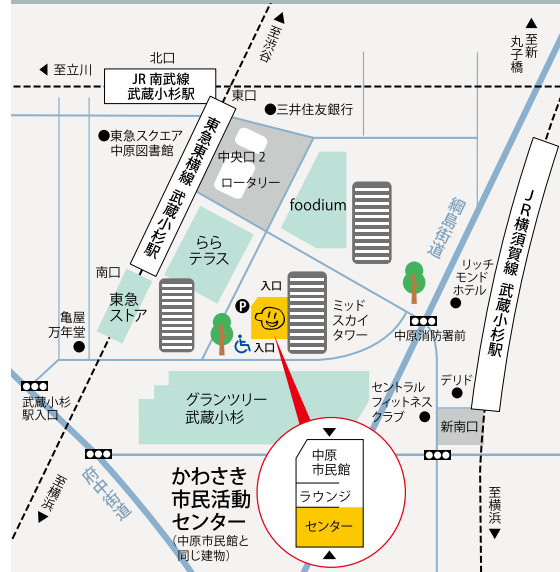
会場 かわさき市民活動センター 会議室

対象 川崎市市内でNPO法人の設立を検討している方や、法人格の取得を検討している団体の方

定員 25名 ※先着順、事前申込制(1団体あたり2名まで)
※配慮が必要な方は7月14日(金)までにお申し込みの上、別途ご連絡をお願いします。

申込先問合せ 川崎市HP NPO法人 関連 検索

ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2023年夏号(通巻No.306)

【編集・発行】

公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12

電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577

メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp

WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/



ポータルサイト「応援ナビかわさき」
http://kawasaki.genki365.net/